

英語科学習指導案

日 時 平成24年11月9日(金) 公開授業Ⅱ
生 徒 2年5組(男子16名 女子18名 計34名)
授業者 中目 由美子/サマンサ・クック

1 単元名

Program7 “If You Wish to See a Change” (SUNSHINE ENGLISH COURSE 2)

2 単元について

(1) 単元について

この単元では、12歳の時にリオで伝説のスピーチをした、セヴァン・カリス・スズキさんの成長を追いながら、地球環境や世界平和について考えさせる内容となっている。その中で、言語材料として、動名詞やlook+形容詞、become+形容詞、そして「主語+動詞+人+もの」のSVOOの構文などが取り扱われる。動名詞については、「～すること」という名詞としての使い方と共に、前プログラムで既習の「不定詞の名詞的用法」と合わせて理解させたい。また、look+形容詞の構文では、実際の表情から様子を推測して考え、表現する活動を通して、定着を図りたい。SVOOの構文も、パターン練習を重ねることで、話すことから、書く活動へとつなげたい。

(2) 生徒について

男女共、学習意欲は高いほうであり、学習態度も良好である。しかし、ペア学習などにおいては、意欲的にできるペアとそうではないペアがあるので、ペアによっては支援が必要である。全体的には、語順違いの意識を高めるために口頭練習でのインプット時間を十分に確保する必要がある。口頭でのインプット→アウトプットがある程度できたことを確認してから、書く活動へとスムーズにつなげたい。

また、学習には意欲的ではあるので、十分な声量を求めながら、全体として、間違いを恐れず温かい雰囲気での授業を進めたい。

(3) 指導にあたって

現在私たちが暮らす地球環境は、震災や異常気象、温暖化など、不安要素ばかりであるように思われる。しかし、私たち人間の生活スタイルの変化や心がけ一つで、少しでも環境の悪化に歯止めをかけられることも事実である。

この単元で取り上げられている、セヴァン・カリス・スズキさんのスピーチやガンジーの言葉を通して、生徒たちの心に、自分たちがこれからどのような生き方をし、どのような地球環境を作っていくかという視点を芽生えさせたい。

また、それぞれのセクションにおいて学習する文法事項については、基本的な用法を理解し、その構文を使って自己表現できるよう指導したい。そして、本文の中でどのように使われているかについても考えさせ、表現方法の定着を図りたい。

3 単元の目標

- (1) 動作について言えるようにする。
- (2) 人やものの状態について言えるようにする。
- (3) だれかに何かを与えるということ言えるようにする。

4 単元の評価規準

【観点1】 コミュニケーション への関心意欲態度	【観点2】 外国語表現の能力	【観点3】 外国語理解の能力	【観点4】 言語や文化の知識理解
ペアと積極的に 会話しようとし ている。	自分の考えを正しく伝 えることができる。	語りの内容を正確 に読み取ることが できる。	

5 指導計画 【6時間】

- 第1時 動名詞を用いた文の構造を理解する
- 第2時 セヴァンさんに関する英文（セクション1）を読む
- 第3時 look (become) + 形容詞を用いた文の構造を理解する 【本時】
- 第4時 セヴァンさんの語り（セクション2）を読む
- 第5時 give + 人 + もの を用いた文の構造を理解する
- 第6時 セヴァンさんの語り（セクション3）を読む

6 本時について

(1) 目標

- ① 「look+形容詞」を用いて、人や物の様子や状態について正しく話す。

(2) 本時の指導構想

“look 形容詞”の表現を使い、場面に合わせた会話文を作り、ペアで対話をさせたい。
基本表現をパターンで口頭練習し定着させた後に、オリジナルの対話を考え発表することにより、新出表現のさらなる定着を図りたい。また、次時の本文学習へとつなげたい。
「なぜ」というところまで考え話をすることで、思考・判断・表現力を伸ばす活動としたい。

(3) 本時の評価規準

評価規準	おおむね満足できると判断できる状況 【B】	十分満足できると判断できる状況 【A】	評価の方法
【観点2】 ・自分の考えを正しく伝えることができる。	ペアで目標となる英文を使い、対話をしている。	ペアで積極的に対話をし、大きな声で発表できる。	観察 発表内容 挙手・発表態度

努力を要する生徒（C）への支援の手立て

【観点2】 ・ヒントとなる文章を提示し、表現のフォーマットを与える

(4) 展開

過程	学習内容と活動	指導上の留意点 ※評価	留意点・備考
導入 10分	1 あいさつ ・授業の流れの確認をする。 2 帯活動 ・ペアでインタビューしあい相手のことについて英文を書く。 3 JTE と ALT によるモデル会話を聞く。 4 学習課題の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ペアで会話練習をし、英文を見ないで発表しよう。 </div>	・ALT の発音指導 ・ペアでの活動がおこなわれているか ・それぞれ相手の様子をどのように言っているかを注意して聞く ・きちんとノートに書いているか	個→ペア→個
展開 30分	5 基本表現のパターン練習をする。 6 ペアでワークシートと表情のカードを使いながら、対話をする。 7 対話を発表する。 8 対話内容を書く。	・顔写真を見て、その表情を表す英文を言えるか。 ・大きな声で発音しているか。英語らしいイントネーションを意識しながら練習しているか。 ・自分なりの理由を考え、積極的に対話しようとしているか。 ※観点2 ・全体に聞こえるように自分たちの会話を表現できているか。 ※観点2 ・会話した内容を文章化し、定着を図る。	全体→個 個→ペア 個→ペア ペア 個
終末 10分	9 自己評価 10 次時の予告 11 あいさつ	・本日の学習内容の理解度を振り返る。	個

English worksheet 7-②

Class: _____ No. _____ Name: _____

☆「あなたは～のように見える」という表現を使って、会話をしましょう。

〈活動の進め方〉

①自分に配布されたカードを自分とします。その表情の気持ちになりきり、なぜその表情なのか、理由のリストから選びましょう。

②ペアで会話をします。

1. Aの人は「～のように見えるね。どうしたの?」と聞いてみます。
2. Bの人はその理由を答えます。
3. Aの人はそれに反応しましょう。

(That's good! いいね! That's too bad. お気の毒に。 Oh, no! なんてこった!
I see. なるほど。 など)

〈活動1〉 対話例を参考にペアで会話を暗唱しよう。 (Aの役、Bの役 どちらも)

対話の流れ<<例>>

A: You look (). What's up?
B: ().
A: ().

〈活動2〉 まとめ 友達との対話の内容を英文にしてすべて書いてみよう。

1.

☆ 自己評価 ~今日のポイント~ "○○○ look(s) ~." の表現

A…よくわかった B…だいたいわかった C…あまりわからない D…わからない

A • B • C • D

質問したいこと・次がんばりたいこと など

(_____)